

関東大震災100年事業

しんさいきねん かぶき えんまさばき なまづのひげぬき
動画「震災記念おとぎ歌舞伎 閻魔裁判鯰髯拔」
完成記念 試写会

来る2023年は、未曾有の大災害である関東大震災の発生から100年という節目の年です。これを機に都市災害の原点ともいえる関東大震災に、今一度多くの方の関心を深めていただきたく、地震を題材とした当時の御伽噺を動画として再現しました。

令和4年8月20日(土)
午後1時30分 ~ 3時

※受付開始・会場 午後1時~

動画「震災記念おとぎ歌舞伎 閻魔裁判鯰髯拔」本編上映の後、キャラクターデザインを担当された、しりあがり寿先生の特別講演がごございます。

しんさいきねん かぶき
震災記念おとぎ歌舞伎

えんまさばき なまづのひげぬき

閻魔裁判鯰髯拔

動画完成記念

(キャラクターデザイン しりあがり寿)

東京都慰霊堂

東京都墨田区横網2丁目3番25号
都立横網町公園内

先着:150名

参加費:無料

※参加者全員に記念品をご用意しております

しいあがり寿先生 ご講演予定

主催 公益財団法人東京都慰霊協会

動画

震災記念おとぎ歌舞伎 閻魔裁判鯰髯拔

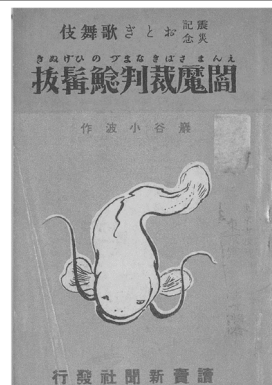
作品紹介

「震災記念おとぎ歌舞伎閻魔裁判鯰髯拔」(以下、閻魔裁判鯰髯拔)は、関東大震災からちょうど1年後、1924(大正13)年9月1日に発行された、児童劇の台本です。

書いたのは御伽噺の父と言われる巖谷小波^{いわ や さざなみ}で、東京市から震災を記憶し、将来の戒めとなる作品を書いてほしいとの希望を受け、「閻魔裁判鯰髯拔」は誕生しました。

荒唐無稽で滑稽な物語の中に、関東大震災の被害状況や復興の様子などが当時の熱量で語られる、歴史資料としても貴重な作品です。

この度、関東大震災100年事業の一環として、「閻魔裁判鯰髯拔」を可能な限り原作に忠実に、親しみやすいアニメーション作品として動画化いたしました。



復興記念館所蔵資料
「震災記念おとぎ歌舞伎
閻魔裁判鯰髯拔」単行本表紙

あらすじ

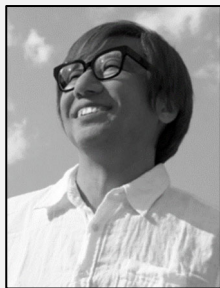
大正12年9月1日、大地震「関東大震災」が起きました。地震と火事で多くの人が亡くなり、地獄は亡者たちの払う三途の川の渡し賃で大儲けをしました。地震を起こした張本人、大鯰の髯右衛門にお礼をするため、震災からちょうど一年後の大正13年9月1日に、閻魔大王が大鯰を地獄に招待します。

大鯰は東京の街にどれだけ大きい被害をもたらしたのか自慢話をしますが、見栄をはって地震から一年経っても復興は全然進まないという嘘をついてしまいます。

その話を怪しいと思った地獄の大臣たち、そして、大鯰を退治するために地獄にやってきた浦島太郎と俵藤太秀郷にによって、大鯰は追い詰められていきます。

地獄ではご法度の嘘をついてしまった大鯰の運命や、いかに？

キャラクターデザイン しりあがり寿 先生



1958年静岡市生まれ。1981年多摩美術大学グラフィックデザイン専攻卒業後キンビール株式会社に入社し、パッケージデザイン、広告宣伝等を担当。1985年単行本『エレキな春』で漫画家としてデビュー。パロディーを中心にした新しいタイプのギャグマンガ家として注目を浴びる。1994年独立後は、幻想的あるいは文学的な作品など次々に発表、新聞の風刺4コママンガから長編ストーリーマンガ、アンダーグラウンドマンガなど様々なジャンルで独自の活動を続ける一方、近年では映像、アートなどマンガ以外の多方面に創作の幅を広げている。

オフィシャルサイト ほーい！ さるやまハゲの助 (<http://www.saruhage.com/index.html>) より



交通アクセス

東京都慰霊堂

東京都墨田区横網2丁目3番25号

都立横網町公園内

■JR総武線両国駅西口より徒歩10分

■都営地下鉄大江戸線両国駅A1出口より

徒歩2分

■都営バス【都02】【門33】

バス停「石原一丁目」より徒歩1分

【お問合せ】 03-3622-1208 (横網町公園管理所)



横網町公園ホームページ内
アクセスマップ

<https://tokyoireikyokai.or.jp/location/access.html>

※新型コロナウイルス感染症対策等、今後の状況によりイベントの内容の変更もあります。
横網町公園ホームページでご確認ください。